

## 平成27年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	嬉野市立大草野小学校		
2 所在地	嬉野市嬉野町大字下野丙80番地		
3 校長名	大川内加代子		
4 学級数 児童生徒数	8学級 143人	5 実施学年 児童生徒数	2年生 22人

### 6 取組のねらい

総合的な学習の時間、道徳、特別活動、家庭科等を中心に、あらゆる教育活動において、「多様な個性や違いを理解し、相手を尊重する心や思いやりの心を育む」というテーマのもと、低学年を中心として、「UDとは何か」の理解や「自分たちも取り組もう」とする意識の高揚を図る。

### 7 取組の実際

テーマ「UDって何？」 対象学年：2年生

#### ①教師の自作資料（プレゼンテーション）による授業



低学年の発達段階に応じて、分かりやすいプレゼンテーション資料を作成し、理解啓発のための授業実践を行った。子どもたちの様子や発言は以下の通り。

○プレゼンテーションの中で出てくるクイズに意欲的に答えるなど、積極的に参加することができた。

○点字ブロックや「みんなのトイレ」もUDであることに児童自らが気付くことができた。

○児童の感想より

- ・身の回りには、いろいろなUDがあるということが分かった。

- 他にもUDがないか探してみたいと思った。
- いろいろな人が使えるので、UDはいいなと思った。
- 自分のことだけでなく、みんなのことを考えていていいなと思った。

## ②UD啓発ポスターの作成

授業で理解したことを、実際にポスターで表すことで、さらに理解を深め、UDに対する意識の高揚を図った。

また、作成した作品は、佐賀県こどもUDコンクールに応募した。



## 8 取組の成果と課題

### 【成果】

- プレゼンテーションを使って、様々な写真等を提示したことで、UDを具体的に伝えることができ、低学年の児童にもUDの特徴を伝えることができた。
- クイズ形式にしたことで、児童が主体的に考えながら、意欲的に学習に参加することができた。
- 授業の後、身近にあるUD製品や建物を見つけてきて、話題にするなど、児童のUDに対する関心が高まってきた。

### 【課題】

- UDの特徴について考えさせることにとどまらず、いろいろな人の立場を尊重し、共生していこうという人権尊重の心情を大切にしていかなければならない。
- 生活科の「町たんけん」や公共施設を利用させる際に、UDについて取り上げるなど、教育のあらゆる分野でUDを意識した取組を行っていく必要があるということを、全職員で共通理解する。

### 9 本校におけるその他の取組

#### 【嬉野市「ボランティアスクール」への参加】

平成28年1月6日（水） 場所：県立嬉野高校

目的… お年寄りや障がいを持つ人の日常動作を擬似的に体験することにより、加齢による身体的変化を知り、解除の仕方、優しさ、思いやりの気持ちを身に付ける。

参加対象…市内小学生（5，6年生）及び中学生

※本校からは、毎年、企画委員会の児童が参加

